

あじさいネット

OFF LINE 通信

2022.10
Vol. 44

Regional Health Information Network



江袋の夕景（五島市）

会員様の声	情報閲覧施設 出島病院 中村 秀男 先生	p.2
会員様の声	情報閲覧施設 山口てつ整形外科クリニック 山口 哲 先生	p.3
会員様の声	情報閲覧施設 本田内科医院 本田 孝也 先生	p.4
お役立ち	情報提供病院 連絡先一覧	p.5-6
会員様の声	情報閲覧施設 福田外科病院 谷口 善孝 先生	p.7
県庁紹介	長崎県 医療政策課 地域医療班のご紹介	p.8
KEY PERSON	日本電気株式会社 持田 祐介 氏・牧本 卓真 氏	p.9
ご案内	あじさいな人々／編集後記	p.10

現在の運用状況

- 患者登録数： 156,274 名
- 会員数： 1,839 名
- 情報閲覧施設数： 371 施設
- 情報提供病院数： 38 施設

(令和4年9月26日現在)

賛助会員

- ◆ 日本電気株式会社 医療ソリューション事業部
- ◆ 株式会社LSIメディアエンス
- ◆ 株式会社NTTデータ中国
- ◆ 富士通 Japan 株式会社 長崎支店
- ◆ 株式会社インテグリティ・ヘルスケア
- ◆ 東七株式会社
- ◆ ノバルティス ファーマ株式会社
- ◆ 株式会社エスアールエル



特定非営利活動法人
長崎地域医療連携ネットワークシステム協議会（あじさいネット）

事務局：〒852-8532 長崎県長崎市茂里町3番27号（長崎県医師会内）
TEL. 095-844-1111 FAX. 095-844-1110 Eメール：aj-na@nagasaki.med.or.jp

患者さんに勧められて入会。 先生方との連携が大きな財産です

出島病院 緩和ケア内科 なかむら ひでお 中村 秀男 先生

患者さんの勧めで入会

私は出島病院の緩和ケア病棟に勤務しております中村です。ここに来て、早くも11年目になりました。私が長崎県医師会の会場であじさいネットの講習会を受け、受講修了書をいただいたのが、2020年1月14日。2年7か月前です。きっかけは、当時私の外来に通院されていた患者さんのほうから、「あじさいネットで自分のデータを調べてほしい」との依頼があったからです。

それまであじさいネットについては、長崎市医師会報とともに「あじさいネットOFFLINE通信」が送られてくるので、およその内容はわかっていました。

しかしこれまでは、紹介元の先生からいただく検査データや

CD-Rでおおよそこと足りていたので、「自分には必要ない」と思い続けていました。

ところが当時、紹介された患者さんが入院されても、紹介元からのCD-Rがかなり遅れて到着することがたびたびあり、そのような時に出会った上記の患者さんからの勧めで、会員になることになりました。

利便性とセキュリティの高さに多くの先生が加入されているのもうなづける

会員になって気づいたことは、病状という患者さんにとって重要な個人情報や、スムーズに閲覧できるといふこと。また、それゆえにしっかりとセキュリティシステムが導入されているということです。具体的には通常のインターネット回線とは独立した回線が利用されていること、利用者ごとにIDとパスワードが決められていて、かつ患者さんの同意と署名が必須になっていることなどです。このような利便性とセキュリティの高さから、特に長崎在宅ドクターネットに加入されている先生方の多くが、このシステムを利用されていることもうなづけます。ただ出島病院の場合、入院して来られる患者さんについての紹介元からの情報は、おおよそスムーズに入手できることが多いので、ここ2年間はあじさいネット

を利用した事例は多くはありません。しかしながら訪問診療を頑張っておられる先生方との連携がとりやすくなったことは、大きな財産となっております。

いつの間にか期限切れのパスワードには更新予定日を忘れずに

あじさいネットを利用する際には、注意点がありません。それは、利用の際に必須なパスワードには、3か月おきの更新が必要だということです。あじさいネットを頻繁に利用されている方であれば、「更新必要」のお知らせが表示されるので、あまり問題にはならないのですが、私のようにたまにしか利用しない者にとつては、いつのまにか期限切れとなっていて、初期設定からやり直すこととなります。ですから、これから新規にあじさいネットに加入された場合は、パスワード更新予定の日をあらかじめ知っておく必要があると思います。

座右の銘

心こそ大切なれ

音楽が好き

趣味は音楽鑑賞で、ジャンルではクラシックを聴いています。中でもロックが好きで、現在もアナログレコードを所有しています。

令和2年
あじさいネット
入会

出島病院 緩和ケア内科 TEL. 095-822-2323 FAX. 095-822-8855 Email: hideo_nakamura@shunkaikai.jp

《賛助会員様広告欄》

Orchestrating a brighter world

NECは、安全・安心・公平・効率という社会価値を創造し、誰もが人間性を十分に発揮できる持続可能な社会の実現を目指します。

NEC

国道498号線の陸の孤島から 「あじネ」で繋がった 患者さんと医師双方のメリット

医療法人山口てつ整形外科クリニック 院長 やまぐち 山口 てつ 哲 先生



某名誉院長に勧められ、
趣旨に賛同し脊髄反射で入会

医師会報と一緒に送られてくるあじさいネットOFF LINE通信を「皆さん文才に長けてスゴ！こんな文章は到底書けんよ」といつも気軽に拝読していたが、ブルーな気持ち満タンの診療開始前に火傷しそうなコーヒートを啜るモーニングルーティン中、何か拡充プロジェクト室から執筆依頼の電話が入り久々に背筋に冷や汗と緊張が走った。診察室に貼ってある鶴の港のポスターを「1300字程度つてちよつとした小論文レベルやん…困った困った」とある先生の真似をしながら、スリーパーホールドで締められたような意識朦朧状態で眺めると、あじさいネット（以下あじネ）とはNPO法人長崎地域医療連携ネットワークシステム協議会の通称名であるそうだ。その入会のきっかけは、長崎労災病院医

療連携室にほぼ毎日のように電話させて頂いている小西宏昭名誉院長から入会のすすめの連絡があり、趣旨に脊髄反射で賛同し入会に至った。佐世保市医師会館で運用講習会を修了、アダプタ設置工事に同席しVAIOのあじネアイコンのレッドがグリーンに変色しONLINEになった瞬間は、国道498号線の陸の孤島が地続きになった気がして、「1人じゃないから」と歌いだしそうな気分であった。

患者さんとの診療の思い出と
受験生のような気持ちで
楽しみな読影レポート

あじネとの「絆」が出来て、8年、1番印象的な患者さんは、主幹病院と並行受診していた非常にナーバスな中学生の親御さんに、VAIOを凝視する視線を痛いほど感じながら、冬季オリンピックさながらの薄氷を履むような緊張感で、一言一句違わぬようシエアードディスプレイモニターキングしていったことが今でも強く印象に残っている。あとは放射線科医の読影レポートを、正誤表を読む受験生気分で見ながら読影レベルをアップ出来たらなと思いつつ毎回楽しみに確認しています。また上記のように診療支援機能と生涯教育支援機能の2つの機能が享受出来るため、日々の診療において非常に有意義に医療の質向上が図れると思っています。

使い込むほどに
いい味が出るコンテンツを
より有効活用したい

早期大会出場やスポーツ競技復

帰を目指す学生さんが多い当クリニックの特性として主幹病院でのCT、MRI撮影後の結果説明までのタイムラグの解消に有用であり、かつ上記のような保護者からも非常に有り難がられるツールであるため、今後は使いこめば使いこむほど、いい味が出てくるコンテンツ（現在使用出来ない検査データ共有サービスなど）をより有効活用したいと考えています。

至誠・言行・気力・努力・不精

当クリニック理念である『親切なスタッフによる、横から目線の医療を心がけます』と、中学入寮生活の恩師山本寮長（大日本帝国海軍出身）からの教えである五省とともに今日1日を自省自戒するよう心がけています。

コロナ自粛期間の間は
愛犬との散歩でロコモティブ
シンドローム予防に励む

小学生から底が丸見えの底なし沼と言われるプロレスにハマって抜け出せない状態が続いていたのですが、現在コロナ禍第7波真っ只中、密航（長距離移動してプロレス観戦に赴くこと）自粛期間に伴い、ここ2年間は午後休診日や日祝日は、寝など問答無用のじゃや犬2匹（フレンチブルドッグ5歳メスのオリヴとポストンテリア3歳メスのクリヴ）に自宅周囲を引っ張り回され、ロコモ予防に励んでいる今日この頃です。

医療法人山口てつ整形外科クリニック TEL.0956-76-8520 FAX.0956-76-8521 Email: tetsu-y@jf6.so-net.ne.jp

《賛助会員様広告欄》

ヘルスケアの未来を変えていく。



株式会社SSIメディエンス

臨床検査 / 健康診断サポート / 診断薬・機器 / 創業支援 / 環境リスク評価 / 食の安全サポート / ドーピング検査

〒101-8517 東京都千代田区内神田一丁目13番4号



アナログからデジタルへ 時代と共に進化する 医療環境にも対応した実践的ツール

ほんだ こうや
本田内科医院 院長 本田 孝也 先生



平成21年
あじさいネット
入会

アナログ主体の環境から あじさいネットでの 3D画像へ

私が長崎に帰って開業したのは1995年、それまでは千葉県の千葉西総合病院に勤務していました。その頃から開業したら医療画像をパソコンで管理したいと思っていました。当時はインターネットがようやく普及し始めた頃で、医療画像もほとんどがアナログでした。レントゲンフィルムを取込むために当時最高性能150万画素のコダックのデジタルカメラを150万円で購入したのを思い出します。その後専用のフィルムデジタルイザを300万円で購入。それが今ではレントゲンフィルム自体がなくなりまして。携帯電話に付属のカメラが1200万画素。あじさいネットを使えば紹介先に見れて自在に動かせる。便利な時代になりました。

90年代、東京で体験した 医療連携システム

1990年代が終わり2000年代にはいると医療系メーカーリスト全盛の時代となり、全国各地でオフ会が開催されました。国立国際医療センター(当時)の秋山昌範先生が設計した新宿区医師会の医療連携システムYouNetを初めてみせてもらったのもこの頃だったと思います。「1患者1カルテ」という考え方を提唱し、今では当たり前となっているネットに参加するにあたって事前に患者に同意書をとるというやり方を日本で初めて採用したのもYouNetでした。

愛の奇跡で救われた 患者さんの手術も 翌日には把握でき、 最新の医療も勉強できる

あじさいネットへ入会後のある朝6時、携帯電話のベルが目覚めました。お世話になっていたAさんの奥様からで、奥様とはそれまで一面識もありません。電話の要件は「Aさんが2週間ほど前に発熱しB病院に入院しているのだが、大学病院へ転院させたい」という相談でした。面くらいながらもお見舞いもかねてB病院に伺うと、微熱はあるものの、Aさんは比較的元気でした。医局で主治医の先生に会い、カルテも見せていただきました。心電図、心エコーに異常はなく、発熱の原因はわからないものの必要な検査、治療は適切になされていきました。通常ならそのまま入院をお勧めするところですが、この時は何故か「転院させたほうがよいでしょう」と答えてしまいました。1週間後、大学病院へ転院し、やれやれと思っていた矢先、また奥様からの電話。「とにかく大変なので、すぐに大学病院まで来て

欲しい」。外来から白衣のまま大学に駆け付け、病室に入ると、まさにAさんがストレッチャーで運び出される所でした。完全個室ブロックで、そのままカテ室へ直行し、緊急のペーシングを施行。発熱は感染性心内膜炎によるもので、続けて緊急の弁置換術を行うとの説明でした。

翌朝。パソコンを立ち上げるのもどかしく、あじさいネットにログインすると、手術は無事成功しており、ほっと安堵。前日のカルテを見ると、聴診でⅢ音が亢進していることから異変に気付いたとの記載があり、さすが専門医との感心。診療所にいながら大学病院のカルテが閲覧でき、最新の医療を勉強できる点もあじさいネットの嬉しいところです。Aさんはその後順調に回復し退院されました。感染性心内膜炎で心エコーに異常がないことがあると知ったのは後になってからですが、もしも奥様からの電話がなかったなら、と考えると、愛の奇跡としか言いようのない経験でした。

これからも、手軽に利用でき、 最新の医療を勉強する ツールとして活用したい

今後COVID-19のような感染症の流行に対しオンライン診療を使う機会も増えることが予想されます。また、現在のHERSYSは入力力が面倒な割には患者情報の変化を追跡することができません。開業医がサポーターするCOVID-19患者が入院したような場合に、状況を確認するにはHERSYSとあじさいネットが連動したようなシステムがあるとよいと思いました。これからも、手軽に使える日常診療の補助ツールとして、また、最新の医療を勉強するための実践的ツールとして活用していきたいです。

本田内科医院 TEL. 095-838-2066 FAX. 095-839-2984 Email: honda@po.nim.co.jp

《賛助会員様広告欄》




あじさいネット会員様向け
Wi-Fi 接続でもオンライン資格確認

オンライン資格確認 は NTT データ中国の「おまかせパック」をご利用ください

オンライン資格確認接続サービスは
Wi-Fi 接続でもご利用可能です

**おまかせパックをお申し込みで
WiFi 機器をプレゼント中!**

NTT データ中国「オンライン資格確認」接続サービス推進事務局
お電話: 082-567-4810 メール: onshi@its-center.net

技術員が訪問し
設置・接続いたします



医療情報化
支援基金対象
(補助金)



あじさいネット説明同意書の送付先一覧

見やすいところに貼ってご利用いただくと便利です

(2022年10月現在：情報提供病院 38 施設)

AJISAI NET

	医療機関名・受付時間 (日曜・祝日は全施設受付なし)	FAX 番号	電話番号
県央・佐賀・島原	国立病院機構 長崎医療センター 地域医療連携室 (平日 8:30-17:00 土 受付なし)	0120-731-063	0120-731-062
	市立大村市民病院 地域医療連携室 (平日 8:30-17:15 土 受付なし)	0120-378-375	0957-52-1800
	国立病院機構 長崎川棚医療センター 地域医療支援センター (平日 8:30-17:15 土 受付なし)	0120-82-2970	0956-82-3121
	諫早総合病院 医療連携室 (平日 8:30-17:00 土 受付なし)	0120-1388-35	0957-22-1380
	貞松病院 地域医療連携室 (平日 9:00-17:00 土 受付なし)	0957-54-1165	0957-54-1161
	愛野記念病院 地域医療連携室 (平日 8:30-17:00 土 受付なし)	0957-36-7072	0957-36-3950
	諫早記念病院 医療連携室 (平日 9:00-17:00 土 受付なし)	0957-22-2903	0957-22-0370
	日赤長崎原爆諫早病院 医療連携室 (平日 8:30-16:30 土 受付なし)	0957-43-2870	0957-43-2111
	南野病院 地域医療連携室 (平日 9:30-16:30 土 受付なし)	0957-54-8752	0957-47-5200
	宮崎病院 地域医療連携室 (平日 8:30-17:00 土 受付なし)	0957-25-7053	0957-25-4800
国立病院機構 嬉野医療センター 地域医療連携室 (平日 8:30-17:15 土 受付なし)	0120-473-489	0954-43-1213	
長崎県島原病院 地域医療支援センター (平日 9:00-17:00 土 受付なし)	0957-63-6544	0957-63-1145	
五島・壱岐・対馬	長崎県上五島病院 地域医療連携室 (平日 8:30-17:15 土 受付なし)	0959-52-8150	0959-52-3000
	長崎県五島中央病院 地域医療連携室 (平日 8:30-17:00 土 受付なし)	0959-75-0657	0959-72-3181
	長崎県壱岐病院 地域包括健康増進センター (平日 8:30-17:15 土 受付なし)	0920-47-1136	0920-47-1135
	光武内科循環器科病院 地域連携課 (平日 9:00-16:30 土 受付なし)	0920-48-1655	0920-47-0023
	長崎県対馬病院 地域連携室 (平日 8:30-17:15 土 受付なし)	0120-765-191	0920-54-7172

《賛助会員様広告欄》



新しい発想で医療に貢献します



ノバルティス ファーマ株式会社

<http://www.novartis.co.jp/>



あじさいネット説明同意書の送付先一覧

AJISAI NET

見やすいところに貼ってご利用いただくと便利です

(2022年10月現在：情報提供病院 38 施設)

	医療機関名・受付時間 (日曜・祝日は全施設受付なし)	FAX 番号	電話番号
長崎 地 域	光晴会病院 地域医療連携室 (平日 8:30-17:00 土 8:30-12:00)	0120-573-632	095-857-3563
	十善会病院 地域連携室 (平日 9:00-17:00 土 受付なし)	095-801-2590	095-801-2599
	長崎大学病院 地域医療連携センター (平日 8:30-17:00 土 受付なし)	095-819-7305	095-819-7930
	長崎みなとメディカルセンター 患者総合支援センター (平日 8:45-17:00 土 受付なし)	095-821-1116	095-822-3251
	日赤長崎原爆病院 病診連携室 (平日 8:30-17:00 土 受付なし)	0120-845-262	0120-845-261
	済生会長崎病院 地域医療連携センター (平日 8:30-17:00 土 受付なし)	095-827-7025	095-827-7021
	聖フランシスコ病院 地域連携科 (平日 9:00-17:00 土 9:00-12:00)	095-845-7600	095-846-2553
	井上病院 地域連携室 (平日 9:00-17:00 土 9:00-12:00)	095-849-6622	095-844-1281
	長崎記念病院 地域連携室 (平日 8:30-17:00 土 受付なし)	095-871-1510	095-871-1515
	長崎北病院 診療録管理室 (平日 9:00-17:00 土 9:00-12:00)	095-886-8707	095-886-8700
	虹が丘病院 地域医療連携室 (平日 8:30-17:00 土 8:30-12:30)	095-856-1102	095-856-1112
	上戸町病院 地域連携室 (平日 9:00-17:00 土 受付なし)	095-832-5616	095-832-5615
	国立病院機構 長崎病院 地域医療連携室 (平日 8:30-17:15 土 受付なし)	095-808-0176	095-824-2788
	重工記念長崎病院 地域連携・入退院支援センター (平日 8:30-17:00 土 8:30-11:30) ※ 第2・第4土曜のみ受付	095-801-5520	095-801-5517
	長崎北徳洲会病院 医局 (平日 9:00-17:00 土 受付なし)	095-813-5862	095-813-5861
長崎百合野病院 地域連携室 (平日 8:30-17:00 土 8:30-12:00)	0120-857-057	095-857-3366	
県 北	佐世保市総合医療センター 地域連携センター (平日 8:30-17:15 土 受付なし)	0956-24-0474	0956-24-1515
	佐世保中央病院 地域医療連携センター (平日 8:30-17:30 土 8:30-12:00)	0800-7000-070	0120-33-8293
	佐世保共済病院 医療連携室 (平日 8:30-17:30 土 受付なし)	0120-12-2067	0956-22-5136
	長崎労災病院 地域医療連携室 (平日 8:15-17:00 土 受付なし)	0120-666-437	0956-49-2191
	青洲会病院 地域連携室 (平日 8:30-17:00 土 受付なし)	0950-57-2151	0950-57-2161

あじさいの奇跡 「プロジェクトX」にも 負けない熱意と歴史を感じて

福田外科病院 副院長 ^{たにくち} 谷口 ^{よしたか} 善孝 先生



平成21年
あじさいネット
入会

先生方の熱意を感じる 取り組みに陰ながら応援

ある日、若い女性の声で電話あり。何とあじさいネットの広報誌への寄稿依頼でした。一介の勤務医の私に何故？と思うと同時に、ある人物の顔が浮かびました。長崎大学病院で最も声が大きい男、そしてあじさいネットの中心人物である松本武浩先生とは同期です。彼は学生時代から大声で、明るく、人懐っこく、バイタリテイに溢れていました。まさにミスター・コミュニケーション。その彼があじさいネットの立ち上げに関わったのは、まさに運命だったのでしょうか。

広報誌は毎号楽しみに拝見してました。申し訳ないのですが、最初に見るのはマンガ「あじさいな人々」から。内科・小児科・マンガ科のたくま医院院長詫摩和彦先生とは、研修医時代にご縁がありました。あじさいネット利用の達人としてレクチャーをされている渡部誠一郎先生は、研修医時代の恩師

N△K プロジェクトX 挑戦者たち あじさいの奇跡

で、公私に渡り大変お世話になりました。知っている先生方が取り組んでいる事を知り、陰ながら応援しておりました。今回改めて広報誌を創刊号から読み返すと、これが面白い。読んだだけでその熱気が伝わってききました。これは何かにピッタリ！ そう思ったのが、かの番組でした。

(ナレーション・田口トモロヲ) 長崎には「あじさいの奇跡」と言われる、最先端の医療ITネットワークがある。

今から約20年前、大病院ではようやく電子カルテが採用され始めていた。中小の病院では電子カルテなど、まだまだ普及していない時代である。

そんな時、日本の西の果て長崎で、大病院と診療所をネットワークでつなぎ、患者さんの情報を共有しようという新たな試みが始まる。

だが、それは大変困難な挑戦だった。電子カルテの様式は病院によって異なり、それを統合出来るソフトなど存在しなかった。

そして医療情報は究極の個人情報であり、最高レベルのセキュリティが求められる。新しい技術開発が必要で、運営には当然資金も必要である。

地域の多数の医師へ、その有用性・安全性・ルールなど十分に説明する必要があった。クールなITネットワークの構築を成し遂げたのは、ホットな医師達のヒューマンネットワークだった。

た。これは、前途多難な挑戦を「患者さんのために」という一念でやり遂げた、熱い医師達の物語である。(ここで中島みゆきの「地上の星」が流れる)

この企画、N△Kに持ち込んだら通りそうな気がします(笑)。詫摩先生によるマンガ化はいかがでしょうか？

何にしろ大事な人は人とその情熱だと、改めて思いました。松本先生を始め、あじさいネットに関わる多くの皆様、これからもよろしく願います。

笑顔忘れずに過ごす事が 私の目標

「笑顔には、計り知れない力がある」(マザー・テレサ)

笑顔が如何に患者さんを元気にする薬になるか。逆に患者さんの笑顔が如何に我々のエネルギーになるか。笑顔の力を我々医師は知っています。笑顔忘れずに過ごしたい。私の目標です。

趣味のマラソンと 父とのプロジェクトX

アイアンマンレース(水泳3・8km・自転車180・2km・マラソン42・2km)を6回完走したのが、私にとっての「プロジェクトX」でした。現在はフルマラソンを年1回走っています。尚、父は凄いマラソンマンで、年齢別ランキングで日本一を数回獲りました。その父が84歳時ゴール寸前で心筋梗塞のため心肺停止。AED・ステントで復活。86歳時には再度フルマラソンに挑戦。その際AEDを私が背負って伴走し、見事完走！したのが父と私の「プロジェクトX」でした。

福田外科病院 TEL. 0956-34-0151 FAX. 0956-32-3464

《賛助会員様広告欄》

東七は「健康」をテーマに、医薬品の安定供給と医療機器販売、介護サービス支援を通じて、地域医療の発展に貢献する『総合ヘルス・コーポレーション』を目指しています。

2021年 東七は、創業115周年を迎えました。

～Since1906～



本社所在地 〒857-0192 長崎県佐世保市瀬戸越4丁目1318-1 TEL 0956-41-0777 介護サービス 0956-37-6000

長崎県福祉保健部 医療政策課 地域医療班のご紹介



4月より、あじさいネット担当になられた井口様にあじさいネットへ今後期待する事などについてお聞きしました。



医療情報連携ネットワークとして全国に先駆けて発展を続けてこられたあじさいネットでは、運用が開始され17周年の現在、電子カルテの連携にとどまらず遠隔画像診断や支援、在宅医療連携、検査データ共有、TV会議システムなど非常に多岐にわたる機能を整備されており、各種情報をもとに患者様への説明を行われたり、医療機関様同士で

医療政策課の業務について

医療政策課は「地域医療班」、「医事・医療相談班」、「がん対策班」の3班体制により、あじさいネットを含む地域医療体制の整備、医療機関等の許認可及び監視指導、精神疾患を除く5疾病対策の推進などに関する業務を行っています。また、新型コロナウイルス感染症対策につきましても、令和4年度に新たに設置された感染症対策室と連携しながら引き続き取り組んでいるところです。

医療政策課から見てあじさいネットはどのように感じますか

も今後の治療方針を話し合われたり、もはや単なる情報連携ツールではなく、医療情報を通じたコミュニケーションツールとして活用され、県内の医療の質の向上に繋がっているものと思います。

地域医療の中でのあじさいネットの位置づけ

昨今の新型コロナウイルス感染症流行に伴う遠隔医療の規制緩和や、国の推進する医療を含めた社会インフラのデジタル化、ICT活用の議論の活性化といった潮流の中で、地域医療における情報共有の核となり得るあじさいネットの存在感は、日々大きくなっていると感じます。特に、本県特有の課題である離島へき地における医療提供体制の確保について、遠隔画像診断システムや地域連携パスにより本土医療機関の専門医による支援が受けられる体制が構築され、救急対応から回復期治療に至るまで大きな支えになっております。離島からへりにより搬送されタイムロスなく適切な治療を受けられる、地元地域に戻っても継続的に的確な診療機会を得られる、といった安心感他には代えがたいものだと思います。

今後、あじさいネットに期待することや感想

あじさいネットは、これまで主にD to Dにおける情報共有ツールとして開始・運用され、次第に訪問看護や介護、薬局などの多職種連携ネットワークへと発展してこられました。さらに、オンライン診療システム

であるY a D o cも新たに整備され、医療機関と患者様が直接つながることができるようになり、今後ますます地域に根差したシステムとなることを期待しております。

現在全登録者数が15万人を超え、着実に県民の皆様へ定着をさせているものと思います。また、あじさいネットは周産期からの健康管理システムを備え、生涯を通しての個人の医療記録等も可能であるため、長期にわたって運用されるほどその価値は高まっていくものと思います。県民一人一人が住まいのある地域に左右されることなく、日々の健康管理や救急時の医療連携、医療と介護との連携などで安心・安全を得られ、健康寿命を延ばしていただける社会を目指す中で、あじさいネットがその一翼を担っていただければ幸いです。協力をお願いしたいと考えております。

新型コロナウイルス感染症対策について

新型コロナウイルス感染症の影響が長期化する中、最前線にて日々の対応に御尽力されております医療関係者の皆様へ、心より敬意を表しますとともに、深く感謝申し上げます。県としても引き続きできる限りの支援に全力で取り組んでまいりますので、何卒ご協力賜りますようお願い申し上げます。

お問合せ先

長崎県福祉保健部 医療政策課
電話 095-1895-2461

《賛助会員様広告欄》

「つなぐ医療」から、「支える医療」へ。

富士通は、医療の未来をカタチにしていきます。

地域医療ネットワークの整備が進むなか、富士通は、地域と住民を「支える医療」にいち早く着手。災害時の事業継続、ビッグデータによる個別化医療、創薬の加速化をサポートします。

HumanBridge EHRソリューション

製品・サービスについてのお問い合わせは
富士通コンタクトライン (総合窓口) 0120-933-200 (受付時間 9:00~17:30 土・日・祝日・年末年始を除く)
<http://jp.fujitsu.com/solutions/medical/products/humanbridge/>

shaping tomorrow with you
社会とお客様の豊かな未来のために

あじさいネットの KEY PERSON に聞く



持田 祐介氏

牧本 卓真氏

日本電気株式会社：NEC

1899(明治32)年の設立以来、海底から宇宙まで幅広い分野に携わらせていただいております。医療分野(医療ソリューション事業部)では、MegaOakを中心とした病院情報システムや地域連携ネットワークシステム(ID-Link)等を展開し、「医療の課題を、ともに解きつづけ、問いつづける」を事業メッセージとして活動しています。変化の激しい社会の中で、安全・安心・公平・効率な医療サービスがいきわたる社会の実現に貢献してまいります。

あじさいネットとの関わりはいつ頃から、どのような案件でしたか？

持田…2016年4月に前任者より引き継いで関わらせていただいています。

その頃には現あじさいネットの仕組みの多くは構築されており、最初は各施設がどのようなことをやっているのか、提供されているサービスにはどのようなものがあるのか…を勉強するところからスタートでした。これまで関わったことのない形のプロジェクト・案件であり、新鮮でした。

牧本…2018年4月より長崎への異動に伴い携わらせていただいています。

前任地の福岡にもあじさいネットの評判はもちろんです。おりましたので、携わらせていただけることは大きな喜びでした。あじさいネットの取り組みは参考になることばかりです。も勉強させていただいています。

他の地域医療ネットワークと比べてあじさいネットはどう思われますか？

地域連携ネットワークシステムは、時代背景や患者の立場から非常に有用な仕組みであると考えられつつも、参加する組織の数が多くなるほど、範囲が広がるほど、意見の取り纏めなどが難しくなるといった課題を多く耳にします。

一方で、あじさいネットにおいては、参加されている医療機

関数の多さ、薬局や訪問看護ソリューションなどの連携、実際に登録・活用されている患者数そして仕組みの運営(費用的な観点)などから、今後の地域医療におけるゲームチェンジャーとなりえるICT基盤ができあがっていると感じました。また、Web会議や配信などを備えるTV会議システム、オンライン診療など、先を見据えた仕組みが拡充されているところに、他ネットワークとの違いや長期的に使い続けられる有用性を感じています。

あじさいネットを利用している病院との関わり合いは？

持田…2011年4月より長崎大学病院様を担当させていただいています。「医療の情報化で、医療の質向上を目指す！」という強い想いを持たれている長崎大学病院 医療情報部の松本武浩先生から日々刺激をいただいています。

牧本…あじさいネット(※ID-Linkの導入施設)を導入いただいている医療機関、パートナー企業の営業窓口を担当しております。病床規模に関わらず、全ての医療機関において、あじさいネットは地域医療に欠かせないツールとなっており、感じております。

あじさいネットについての感想や今後期待する事はありますか？

日本における社会的背景や厚

生労働省の推進する施策等から、「地域で患者を診る」という地域包括的な支援・サービス提供体制の構築の重要性が今以上に高まると考えております。そういった中で、あじさいネットにおかれましては、常にトツプランナーとして走り続けていらっしゃると思います。

これまでのあじさいネット構築にて培われた多方面での立場から、それぞれのセクションにおけるノウハウを展開できるようなロールモデルを作っていたきたいと感じています。(もちろん、私たちメーカーの立場においても語れるようにしていかなければならないと深く感じています)

日本電気株式会社様からみたあじさいネットはどのように感じますか？

弊社は主に病院情報システムを提供させていただいていますので、クリニックや薬局、訪問看護ステーションの方々のご意見を聞く機会が少なく感じております。

患者を受け入れる側にとって必要な情報は何か、そのためにどのような情報を、どのような形で連携すれば患者や医療機関にとって有益となりえるかを勉強させていただきたいと考えています。それらを、本業や関連するサービスに繋げていき、地域完結型医療を見据えた病院情報システムに変革・提供していきたいと考えています。

《賛助会員様広告欄》

ぬくもりのある医療を、
100年先も、ずっと。

Warmful Healthcare for the next 100 years & ever.



インテグリティ・ヘルスケアでは、製薬企業や、病院・大学研究機関向けに、実臨床・臨床研究・臨床試験で活用されるePROプラットフォーム「YaDoc」を提供しています。

株式会社インテグリティ・ヘルスケア <https://www.integrity-healthcare.co.jp/>



Integrity
Healthcare



コロナ第7波とかかりつけ医

あじさいネットOFF LINE通信 編集長 松本 武浩

新型コロナウイルスはついに第7波に到達しました。本号が届くころには、落ち着いているでしょうか、第〇〇波はどこまで続くのでしょうか。ただ、第7波では、コロナの病床稼働率は限界に近い状態に至ったものの、非常事態宣言もまん延防止等重点措置も発令せずに落ち着いてきた点は、一歩前進なのかもしれません。しかしながら、感染者数が過去最大に増えたので、保健所への相談や医療機関を受診しようとしても電話が繋がらない。受診患者が多すぎて断られたというケースも報道されています。一方、感染者数は、圧倒的にEU諸国が多いのに医療崩壊には至らなかったとされ、その理由に

GP (General Practitioner) によるかかりつけ医機能の違いが指摘されています。日医総研のアンケート調査では、かかりつけ医がいると回答したのは、56%と報告されており、この点からも、体調不良時に受診できるという意味で、かかりつけ医は必要なかと思えます。一方、かかりつけ医が、迅速で適切な判断、治療を行う上で、患者の主病名や併存病名、また過去の病理を把握しておくことは、極めて有効と思われれますが、多忙で時間が限られた外来診療の中で、決して容易ではありません。今回のあじさいネット利用者からの寄稿にも同様の利用が垣間見れますが、これらの重要情報を

簡単に把握できる点、すなわちかかりつけ医として患者の診療情報を十二分に把握した上での診療が可能となる点は、あじさいネットの大きな利点です。政府はかかりつけ医機能強化を進めようとしています。かかりつけ医機能を発揮する上での効果的な診療ツールとしてよりその価値は増すものと期待しています。もちろん、これまで紹介してきた、オンライン診療ソフトウェア「Yadoc」の平素からの利用は感染症まん延時や災害発生という有事に活躍するものと思えます。会員の皆様は、こちらでもご検討ください。

この広報紙のご感想は
あじさいネット事務局
まひな野村様へ
al-na@nagasaki.med.or.jp



あじさいな人々

たくま かずひこ



漫画制作：たくま医院 院長 詫摩和彦先生
(長崎市医師会所属 / 長崎在宅Dr.ネット 副理事長)



《賛助会員様広告欄》



Healthcare for You

私たちエスアールエルは、医療機関から預かる、患者さまの検体を通して、いのちの未来を見つめています。



2020年10月1日、エスアールエル、富士テレビオ、日本ステリの営業機能がひとつになり、H.U.グループの営業統合会社「H.U.フロンティア株式会社」がスタートしました。